



滝田 栄

俳優

私の
リビング
で

撮影 本社 林 朋彦 My living Room 144

信州・八ヶ岳の
山麓で
仏像作りを
楽しむ日々

JR中央本線茅野駅から車で二十分余り。八ヶ岳山麓で、滝田栄さんは自然と仏像作りを楽しみながら暮らしている。

自ら漬けた野沢菜を出して迎えてくれた滝田さんは、まず田舎暮らしについて語った。

「三十年前にここに引っ越ししました。僕は山が好き、自然が好きで、東京にいるのは得意じゃない。生活はこらえて、仕事のときだけ東京に出るようになりました。」

でも冬は厳しいですよ。標高は千二百メートルなので、マイナス二十Cくらいになることもある。最初の頃は凍結で水道管が破裂。家中に溢れた水が凍って、スケートリンクのようになってしまったこともあります。

去年の秋には、熊騒ぎも。裏庭で養蜂に挑戦してはいますが、熊に襲われてしまったんです。警察や動物愛護団体もやって来て、地元新聞に載ってしまった(苦笑)。滝田さんは九二年に母を喪った時に観音菩薩像を彫って以来、仏像作りに魅了されている。

写真奥の巨大な不動明王は、〇一年に米軍がアフガンに侵攻したことを機に彫り始め、三年かけて完成させた。

「僕の子供達がアメリカで学んでいたときの友人達が、戦争で犠牲になりました。哀しみと怒りが収まらなくて、彫りました」

リビングに隣接する形でアトリエを増設したのも仏像製作のため。「彫るのは一発勝負。夜の一時、二時に冷水を浴び、座禅を組み、彫刻刀を研いで心を落ち着けてから、一気に始めます。二十四時間くらい通して彫ることもあります。常に他者との折り合いを考える芝居の演技と違い、彫刻は自分の心のままを素直に表現できる。心を解放できるのが魅力です」

(たまたさかえ 一九五〇年千葉県生まれ。八七年から〇一年まで舞台「レ・ミゼラブル」で主演。NHK大河「徳川家康」での家康役をはじめ、テレビ、映画でも活躍。日本フォスター・プラン協会評議員も務める)